

## 会 議 録

1 事業名	令和8年度 第1回海南省男女共同参画推進委員会
2 開催日時	令和8年4月23日(木) 10:30～11:20
3 開催場所	海南省役所 3階 3B会議室
4 参加者	海南省男女共同参画推進委員6名（別紙名簿参照） 神出市長、久保田総務部長、大浦市民交流課長、岩田班長、辻主任 計 11名
5 内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 委員長挨拶</li> <li>3. 市長挨拶</li> <li>4. 委員及び事務局紹介（紹介後、市長退席）</li> <li>5. 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）第5次人権施策推進種別計画・男女共同参画基本計画の策定について</li> <li>（2）市民意識調査・事業所調査について</li> <li>（3）その他</li> </ol> </li> </ol>
6. 主な発言	<p>&lt;議長 金川委員長&gt;</p> <p>4. 議事</p> <p>（1）第5次人権施策推進種別計画・男女共同参画基本計画の策定について 事務局より概要説明</p> <p>&lt;質問・意見等&gt;</p> <p>（前委員）</p> <p>【資料3】P.2 及びP.3 成果指標の状況について、事務局説明に市議会からの指摘を踏まえ人数による指標は削除予定、とあったが具体的な指摘内容は。</p> <p>（事務局）</p> <p>⇒かいなん人権フェスティバルなど、行事参加者数はその日程や内容、天候によっても変動するため、それだけをもって判断するのはどうかという観点での指摘であった。</p>

(金川委員長)

海南省は令和6年に人権尊重まちづくり条例及び男女共同参画推進条例を策定された。これは評価すべき点。条例の策定に積極的ではない自治体もある中、他の自治体にも影響を与えるだろう。

(2) 市民意識調査・事業所調査について

事務局から概要説明

<質問・意見等>

(金川委員長)

条例の認知度を尋ねる設問があったが、施行されてから1～2年では知らないのが当然だと思う。今回の調査がスタート地点で、将来的に認知度が上がっていくよう指標とすればよい。

問について、細かい文言等の見直しはあると思うが、大枠は前回調査から変える必要はない。

(前委員)

【資料4】P.3問4について、回答を1つ選択することになっているが、複数になることもあるのでは。

(金川委員長)

確かに、対応した方は、複数の行動をとっている可能性がある。

複数回答にしてもよいのでは。なお、矛盾する項目で回答があった場合の統計処理に注意が必要だが、今回は「相手に抗議した」けれども、反応がなかったため、その後「放っておいた」など両立する可能性もあるので、そのまま集計することも問題ないと思う。

ただし、今回選択肢を変更すると、経年変化が把握できず、前回結果は参考資料になってしまう。県の調査も参考にして、回答を1つにするか、複数にするかは市が判断されるとよい。

(事務局)

⇒県の調査も確認して、検討します。

(宗委員)

【資料4】P.14 問33 選択肢に地区があるが、区別や表記順はどうなっているのか。

(事務局)

⇒連合自治会に準じ設定したのですが、表記を含め検討します。

(3) その他

<質問・意見等>

(宗委員)

意識調査結果に男女差を反映してはどうか。

男女共同参画基本計画にも人権に関わる部分も盛り込むべきではないか。

(金川委員長)

日本は諸外国に比べジェンダー統計が足りないと言われている。

今回のアンケート案では男女の枠にあてはまらない方にも配慮されているのは評価できる。ただし、統計処理上は、男女別での分析で問題ないと思う。

(事務局)

⇒ご意見を参考にさせていただき素案を作成したい。

閉会 11:20